

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： 大規模 1 細胞ゲノムから設計する微生物叢の戦略的制御

2. 研究代表者： 細川 正人（早稲田大学 理工学術院 准教授）

3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

独自の 1 細胞ゲノム解析技術を用い、細菌叢内の細菌選択的制御技術の開発を目指す挑戦的な課題である。

フェーズ 1 では、1 細胞トランスクリプトーム解析技術を開発して、未培養微生物から大規模データを取得し、さらに個々の微生物と感染ファージの対応付けデータも取得したことは大いに評価できる。フェーズ 2 では、大規模微生物遺伝子収集技術をさらに高度化し、ファージの細菌認識メカニズムを解明して、微生物を自在に操作する技術の開発を目指す挑戦的な研究計画となっており、大いに期待できる。

以上